学校番号	T3015

令和８年度　数学科

教　科	数学	科　目	数学Ⅱ（通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新　高校の数学Ⅱ」（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活に潜む数学や、その活用の仕方を学習する。レポートによって、授業内容を反芻し、考査や、日常生活の中で再生できるようになってもらいたい。また、知識の活用によって、生活水準の向上につなげてもらいたい。

2　学習の到達目標

数学と社会生活との関わりについて認識を深め、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決していく考察力を養うとともに、基礎的な式や指数関数・対数関数についての基本的な概念や原理・法則を身に付け、数学の基礎学力の定着を図る。また、応用的な科目であるため、必要性を見出し、数学を活用しようとする態度を養う。事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともにそれらを活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活との関連を図りながら、基本的な概念を理解し、知識を身に付ける。また、これらを用いて事象を数学的に処理する技能を身に付ける。	様々な事象を考え、知識を活用して物事を数学的に思考・判断する力を身に付ける。さらに、その過程や結果を数学的に表現する。	方程式や複素数、関数に関心をもつとともに、数学の良さを認識する。また、事象の考察に対して積極的に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	三角関数	三角比・一般角 三角関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ	a: 三角比や三角関数の基本的な性質を理解し、角比の相互関係を利用して，三角比の１つの値から残りの 2 つの値を求めることができる。 b: 三角関数の公式や定理を活用し事象を思考し考察する。また、その過程を振り返り、考え方を表現する事ができる。 c: 三角関数に興味をもち三角比の値の算出に取り組もうとしている。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導
	指数関数と対数関数	指数法則指数の拡張(1) 累乗根・指数の拡張(2) 指数関数のグラフ	a: 指数関数のグラフを読みとる。かく事ができる。対数の計算ができ、性質やグラフの特徴を理解している。 b: 指数の範囲を拡張する必要性を認識している。それらの計算をグラフに表現する事ができる。 c:指数を整数に拡張する過程に関心をもつ。またグラフにおいて点をプロットしてかこうとする意欲がある。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導
後期	微分法と積分法	平均変化率・微分係数	a: 平均変化率の定義を理解し、それを求める事が出来る。 微分係数の定義を理解し、それを求めることができる。 b:微分係数と接戦の傾きの関係を関連づけられる。 c: 微分の定義と接線について関心をもち、活用法を考えようとしている。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導

	導関数	導関数･関数の増減	a: 導関数を求める方法を理解し、導関数を利用して、関数の増減を調べ、増減表を用いて考察している。 b: 導関数を表す記号を理解し、それらを用いて表現することができる。関数の増減を傾きから考察することができる。 c: 導関数の性質について興味をもち、活用法を考えようとしている。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度